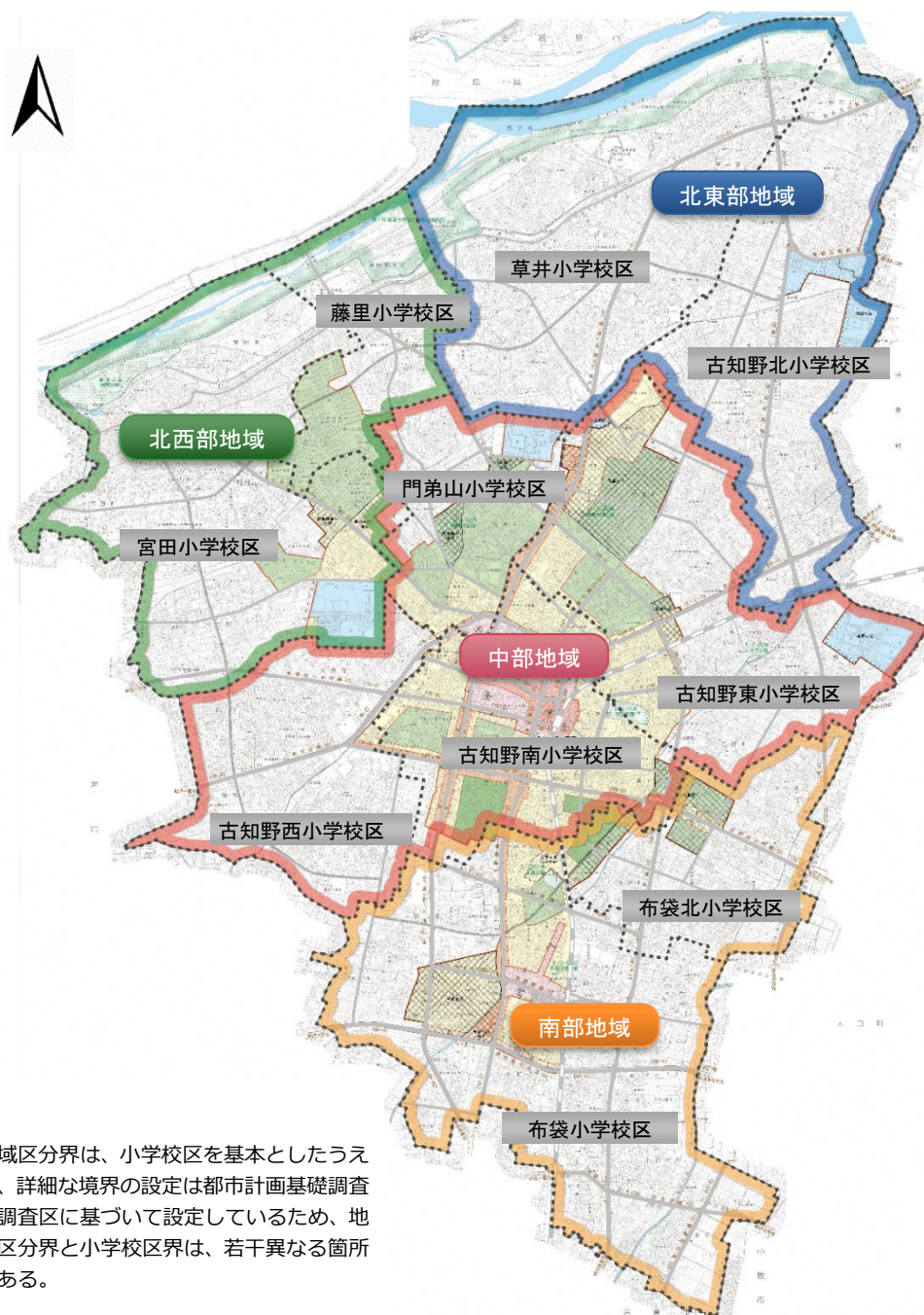




第4章 地域別の緑の施策

緑の基本計画を市民にとって身近な計画とするため、第3章の「緑地の保全及び緑化の推進のための施策」に示した施策の方針及び施策を地域別に整理します。地域区分については、江南市都市計画マスタープランにおける地域別構想に合わせ、北東部地域、北西部地域、中部地域、南部地域の4つの地域を設定します。



※地域区分界は、小学校区を基本としたうえで、詳細な境界の設定は都市計画基礎調査の調査区に基づいて設定しているため、地域区分界と小学校区界は、若干異なる箇所がある。

■ 地域区分図



1 4地域の緑の概況

(1) 公園緑地等の状況

◆公園緑地等の立地状況

- ・本市は、約 60 施設の公園緑地等を有しています。
- ・中部地域は、公園緑地等の立地数が 24 施設と最も多く、市全域の約 4 割の公園緑地等が立地しています。
- ・一方、公園緑地等の立地数が最も少ないのは、北西部地域となっています。

種別		北東部地域	北西部地域	中部地域	南部地域	市全域
都市公園等	街区公園	-	1	6	4	11
	近隣公園	-	-	1	-	1
	運動公園	-	1	-	-	1
	河川敷緑地	3	1	-	-	4
条例公園	-	1	-	1	2	
その他の公園	1	-	6	3	10	
広場	2	1	3	1	7	
児童遊園	2	-	3	4	9	
遊園地	4	2	5	6	17	
合計		12	7	24	19	62



※フラワーパーク江南は、北東部地域と北西部地域の両地域で集計

◆市民一人当たりの都市公園面積、及び公園緑地等のカバー率

- ・市民一人当たりの都市公園面積は、北東部地域が 10.7 m²/人、北西部地域が 9.2 m²/人と高く、市全域の市民一人当たりの都市公園面積 3.9 m²/人の 2 倍以上の水準となっています。
- ・公園緑地等の面積カバー率においても、北東部地域及び北西部地域が高い水準を示しています。

	人口 (人)	市域面積 (ha)	都市公園の供用面積 (ha)	市民一人当たり都市公園面積 (m ² /人)	公園緑地等の人口カバー率 (%)	公園緑地等の面積カバー率 (%)
北東部地域	15,884	779	16.96	10.68	42%	52%
北西部地域	18,454	574	17.06	9.24	61%	63%
中部地域	45,490	972	4.42	0.97	41%	33%
南部地域	21,148	695	0.86	0.41	38%	30%
市全域	100,976	3,020	39.30	3.89	44%	43%

※表記の人口は、住民基本台帳人口 (H29.4.1 現在)

※公園緑地等の人口カバー率は、国勢調査 (H27) の人口データをもとに算出

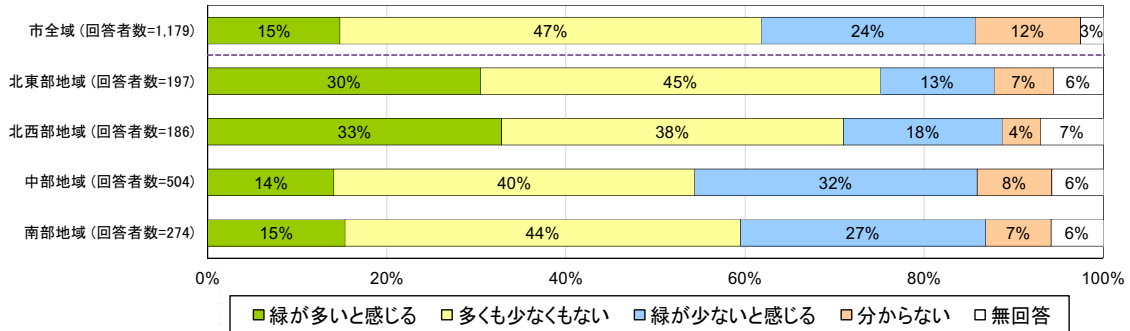
※市民一人当たりの都市公園面積は、住民基本台帳ベース (H29.4.1 現在) の人口データをもとに算出



(2) 市民意向

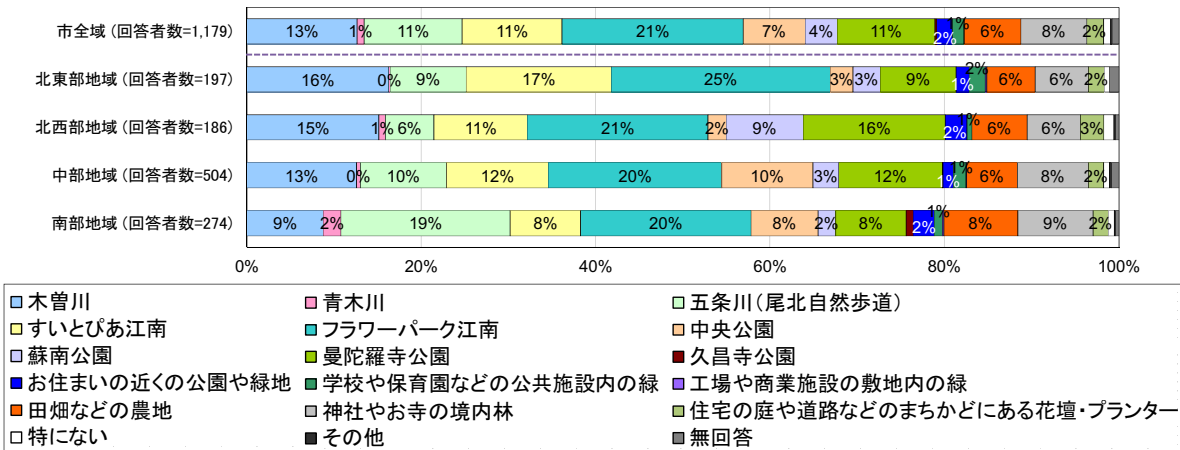
◆緑の量に関する意向

・北東部地域及び北西部地域は、緑が多いと感じている市民の割合が高い地域です。



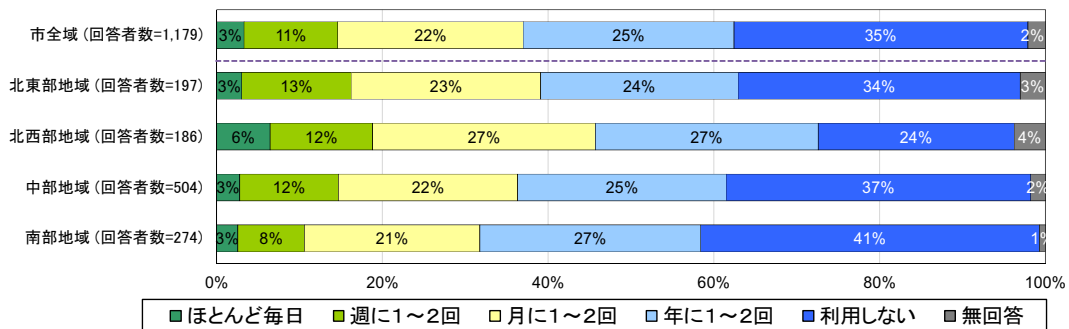
◆江南市の緑で特徴的な場所や施設に関する意向

- ・北東部地域及び北西部地域では、木曽川やフラワーパーク江南を江南市の特徴的な緑として捉えています。
- ・中部地域では中央公園、南部地域では五条川（尾北自然歩道）を江南市の特徴的な緑として捉えています。



◆公園の利用頻度に関する意向

・市民一人当たりの都市公園面積などの水準が高い北東部地域や北西部地域では、その他の2地域と比較して公園の利用頻度が高い傾向となっています。



2 北東部地域の施策

(1) 緑の概況

❖位置

- ・本地域は市域の北東部に位置し、北側に緑の骨格である木曾川を有しています。



❖公園緑地等の立地状況

- ・都市公園は木曾川沿いに3箇所（江南緑地公園（草井・中般若）、フラワーパーク江南）立地しています。児童遊園や広場等を含めると、計12箇所の公園緑地等が立地しています。

❖市民一人当たりの都市公園面積

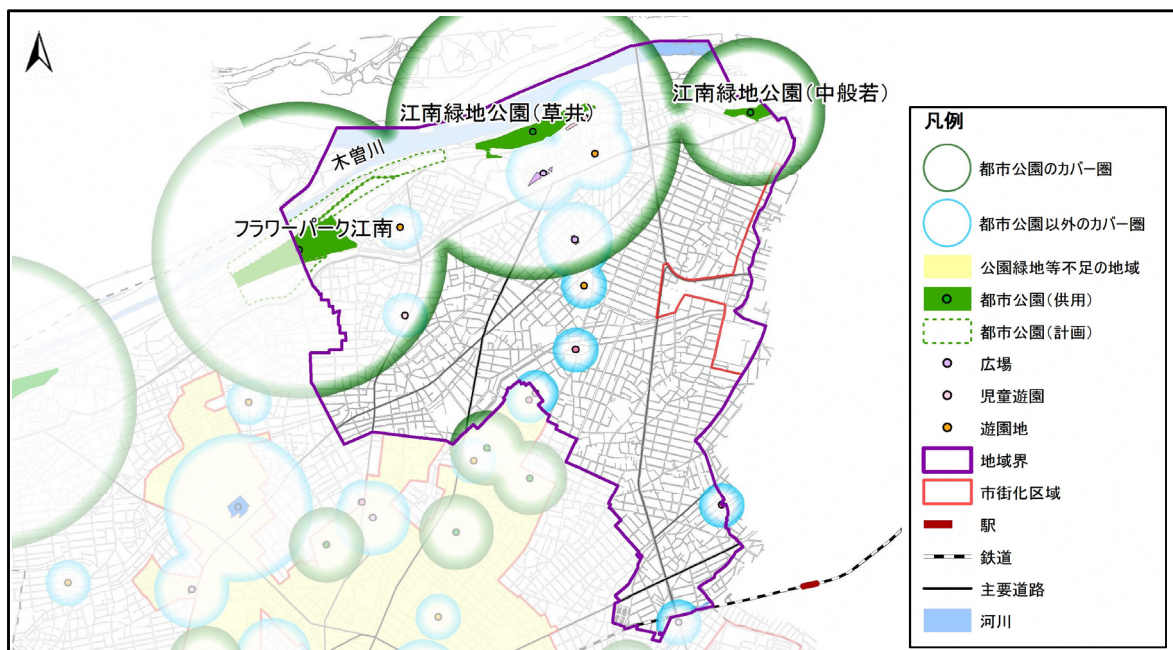
- ・市民一人当たりの都市公園面積は10.7㎡/人であり、市内で最も高い水準にあります。

❖公園緑地等の人口・面積カバー率

- ・公園緑地等の人口カバー率42%、面積カバー率52%となっており、人口カバー率は市平均程度、面積カバー率は市平均より高い水準となっています。

❖市民意向

- ・他地域と比べて、緑が多いと感じている市民の割合が比較的高い地域です。
- ・江南市の緑で特徴的な場所や施設については、フラワーパーク江南、すいとびあ江南、木曾川など、主に木曾川周辺の緑に関する回答が多くなっています。
- ・月に1～2回以上公園を利用する人が39%を占め、比較的使用頻度が高くなっています。木曾川沿いの大規模な公園へのアクセスが容易なためと考えられます。



■公園緑地等のカバー圏の状況



(2) 緑の主要施策

北東部地域における主要施策を以下に示します。

基本目標	主要施策
まもる	<ul style="list-style-type: none"> ○木曽川およびその周辺は、総合的な保全の継続に努めます。 ○川と海のクリーン大作戦を継続するとともに、開催予定を市民に広く紹介するなど、環境美化意識の啓発と参加者のさらなる増加を図り、市民とともに木曽川の美しい自然環境を維持します。 ○木曽川堤の桜並木は、定期的な剪定や消毒などの維持管理に努めるとともに、良好な状態を保つため関係機関へ働きかけます。 ○フラワーパーク江南や遊歩道・サイクリングロードについては、NPO やボランティアとの連携により、快適で安心・安全な利用環境の維持・向上に努めます。
つくる	<ul style="list-style-type: none"> ○フラワーパーク江南は、施設の充実とともに早期に全面開園ができるよう関係機関へ働きかけや協力をしていきます。 ○宮田導水路は、その上部を利用した遊歩道などの整備を推進します。 ○最勝寺跡地を活用し、地域の声を踏まえた公園緑地等の整備を推進します。
いかす	<ul style="list-style-type: none"> ○木曽川沿いの遊歩道・サイクリングロードについては、マップの充実などによるPRを行い、民間事業者やNPO等によるイベント開催などにより、利用の促進に努めます。 ○フラワーパーク江南、音楽寺のあじさい等の花の名所については、市民や観光客が楽しめるイベントの開催の支援を継続していきます。 ○江南緑地公園（草井）、江南緑地公園（中般若）は、大規模な都市公園として公園施設の改修による環境の改善や景観の向上などにより、公園利用者の増加を図り、地域主催のイベントの開催などによる活用を推進します。
つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ○フラワーパーク江南で実施している「木曽川周辺生物学学習会」などを継続して開催し、次世代の緑を担う人づくりを推進します。



フラワーパーク江南

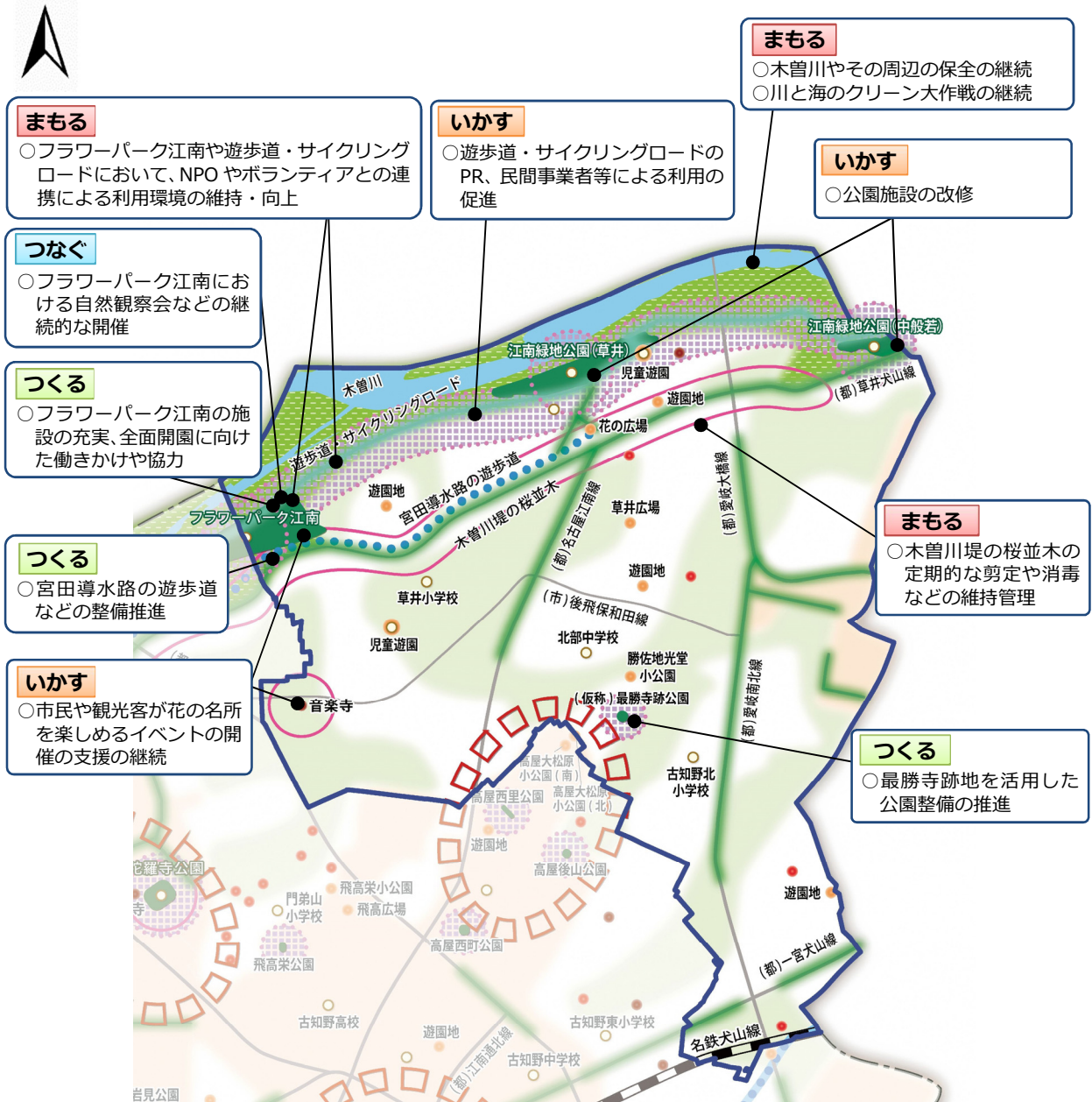


音楽寺のあじさい



江南緑地公園（草井）





凡例	●骨格を形成する緑	●水と緑のネットワーク
	■ 木曽川及び木曽川沿いの草地や樹林地 市街化調整区域の一団の農地	— 遊歩道・サイクリングロード — 木曽川堤の桜並木、街路樹 — 宮田導水路の遊歩道
	●拠点となる緑	● まちの顔となる拠点(中心拠点・地域拠点)
	■ 主要な緑の拠点(都市公園等)	■ 地域界
	● 社寺・古墳等	■ 市街化区域
	● 児童遊園、遊園地、その他公園、広場	■ 鉄道・駅
	● 市民菜園	■ 都市計画道路
	● 避難所・避難場所	■ その他道路
	■ 健康・レクリエーションの場となる緑	■ 河川
	■ 本市を代表する郷土景観となる緑	

■ 緑の主要施策図（北東部地域）



3 北西部地域の施策

(1) 緑の概況

❖位置

・本地域は市域の北西部に位置し、北側に緑の骨格である木曽川、東側に地域拠点（曼陀羅寺周辺）を有しています。



❖公園緑地等の立地状況

・都市公園は木曽川沿いのフラワーパーク江南と蘇南公園の2箇所とほか1箇所、条例公園は曼陀羅寺公園が立地しています。計7箇所の公園緑地等が立地しています。

❖市民一人当たりの都市公園面積

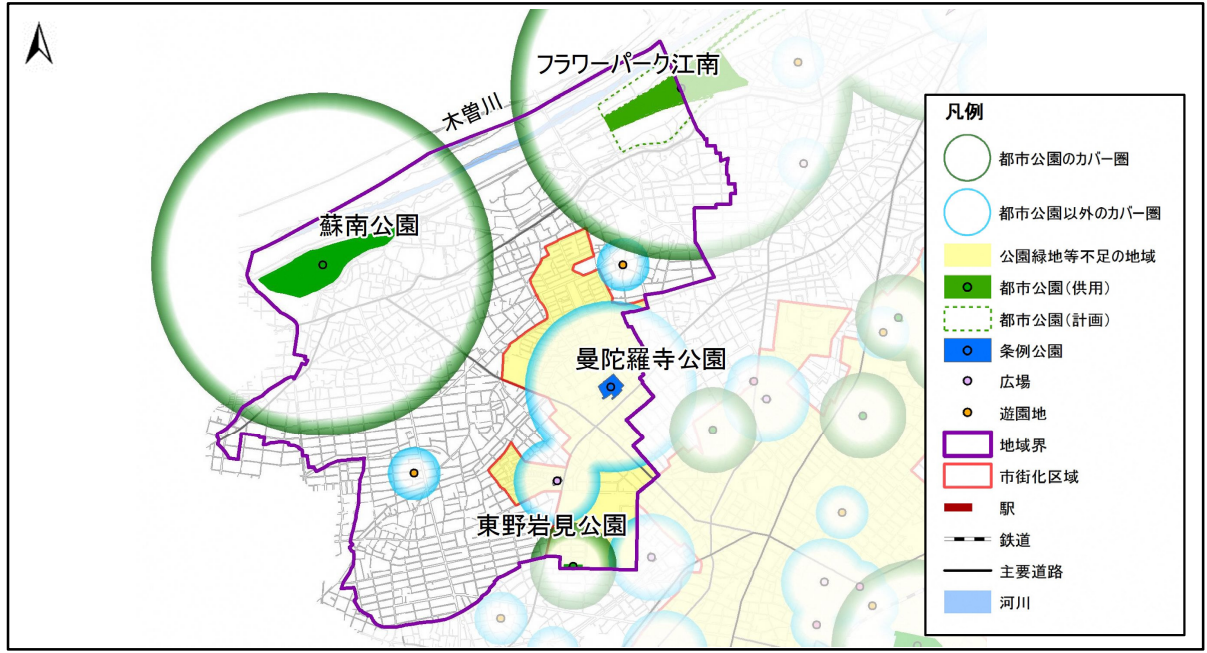
・市民一人当たりの都市公園面積は9.2㎡/人であり、比較的高い水準にあります。

❖公園緑地等の人口・面積カバー率

・公園緑地等の人口カバー率61%、面積カバー率63%となっており、市内で最も高い水準にあります。

❖市民意向

・他地域と比べて、緑が多いと感じている市民の割合が最も高い地域です。
・江南市の緑で特徴的な場所や施設については、フラワーパーク江南、曼陀羅寺公園、木曽川など、主に木曽川周辺の緑に関する回答が多くなっています。
・月に1～2回以上公園を利用する人が45%を占め、利用頻度が最も高くなっています。木曽川沿いの大規模な公園へのアクセスが容易なためと考えられます。



■公園緑地等のカバー圏の状況



(2) 緑の主要施策

北西部地域における主要施策を以下に示します。

基本目標	主要施策
まもる	<ul style="list-style-type: none"> ○木曽川およびその周辺は、総合的な保全の継続に努めます。 ○川と海のクリーン大作戦を継続するとともに、開催予定を市民に広く紹介するなど、環境美化意識の啓発と参加者のさらなる増加を図り、市民とともに木曽川の美しい自然環境を維持します。 ○木曽川堤の桜並木は、定期的な剪定や消毒などの維持管理に努めるとともに、良好な状態を保つため関係機関へ働きかけます。 ○フラワーパーク江南や遊歩道・サイクリングロードについては、NPO やボランティアとの連携により、快適で安心・安全な利用環境の維持・向上に努めます。 ○曼陀羅寺公園の藤については、適切な維持管理を図ります。また、江南藤まつりなどは今後も開催を継続します。 ○生産緑地地区は、特定生産緑地の制度を活用し、適切に維持できるよう努めます。
つくる	<ul style="list-style-type: none"> ○フラワーパーク江南は、施設の充実とともに早期に全面開園ができるよう関係機関へ働きかけや協力をしていきます。 ○曼陀羅寺周辺は、花いっぱい運動の実施を継続するとともに、目に見える緑の量が増えるような花や緑の効果的な配置や設置を検討します。 ○宮田導水路は、その上部を利用した遊歩道などの整備を推進します。
いかす	<ul style="list-style-type: none"> ○木曽川沿いの遊歩道・サイクリングロードについては、マップの充実などによるPRを行い、民間事業者やNPO等によるイベント開催などにより、利用の促進に努めます。 ○フラワーパーク江南、曼陀羅寺公園の藤等の花の名所については、市民や観光客が楽しめるイベントの開催の支援を継続していきます。また、藤まつり期間中は、フラワーパーク江南や曼陀羅寺公園等を結ぶシャトルバスの運行を継続します。 ○曼陀羅寺公園は、藤の魅力を一層高めつつ、更なる情報発信を図ります。 ○蘇南公園は、大規模な都市公園として公園施設の改修による環境の改善や景観の向上などにより、公園利用者の増加を図り、地域主催のイベントの開催などによる活用を推進します。
つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ○フラワーパーク江南で実施している「木曽川周辺生物学習会」などを継続して開催し、次世代の緑を担う人づくりを推進します。



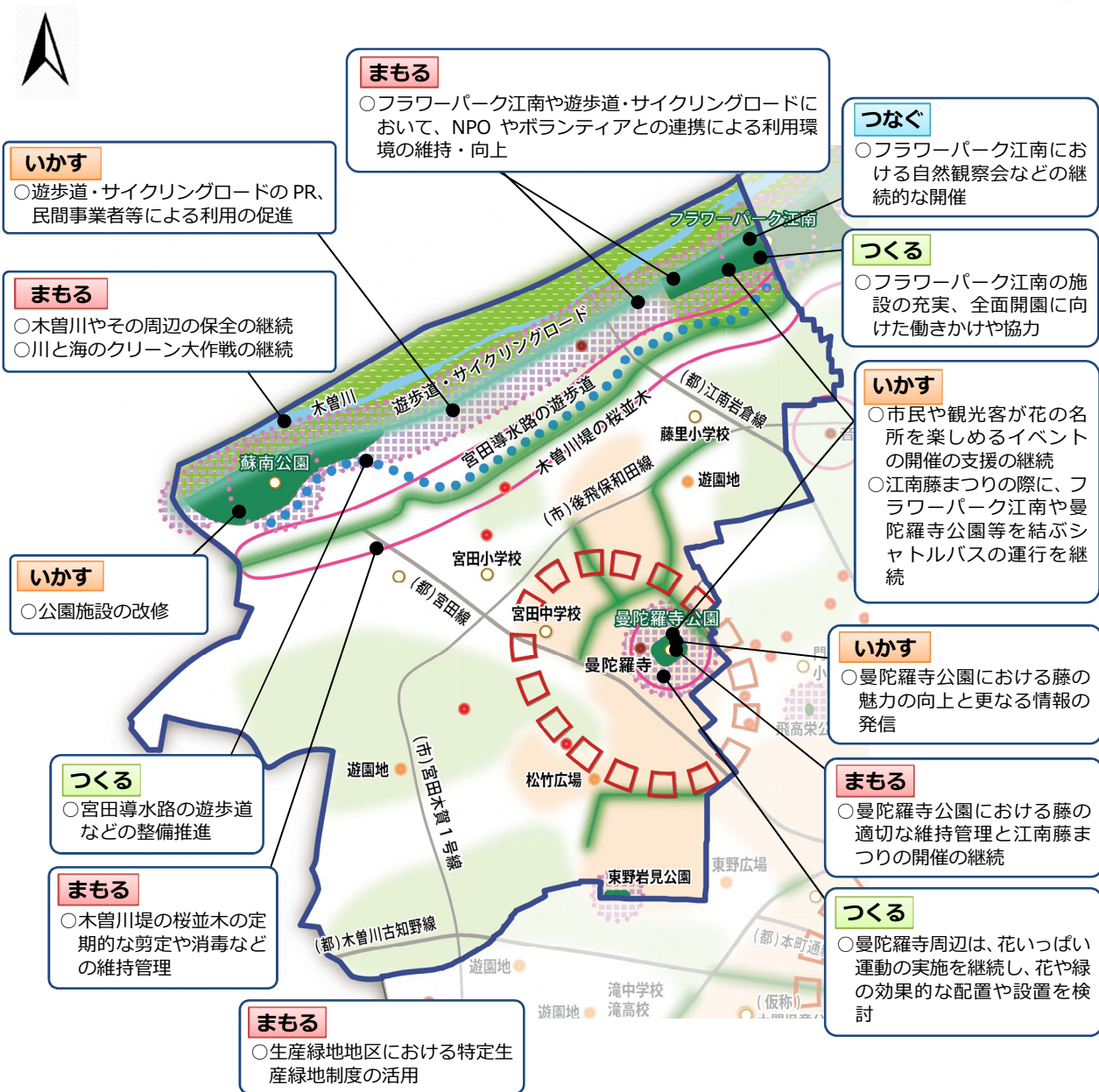
フラワーパーク江南



蘇南公園



曼陀羅寺公園の藤



凡例	●骨格を形成する緑	●水と緑のネットワーク
	木曾川及び木曾川沿いの草地や樹林地	遊歩道・サイクリングロード
	市街化調整区域の一団の農地	木曾川堤の桜並木、街路樹
	●拠点となる緑	宮田導水路の遊歩道
	主要な緑の拠点(都市公園等)	まちの顔となる拠点(中心拠点・地域拠点)
	社寺・古墳等	地域界
	児童遊園、遊園地、その他公園、広場	市街化区域
	市民菜園	鉄道・駅
	避難所・避難場所	都市計画道路
	健康・レクリエーションの場となる緑	その他道路
本市を代表する郷土景観となる緑	河川	

■緑の主要施策図（北西部地域）



4 中部地域の施策

(1) 緑の概況

❖位置

- ・本地域は市域の中心部に位置し、中心拠点（江南駅周辺）や地域拠点（江南厚生病院周辺）を有しています。



❖公園緑地等の立地状況

- ・都市公園は中央公園のほか、6箇所が立地しています。計24箇所の公園緑地等が立地しています。

❖市民一人当たりの都市公園面積

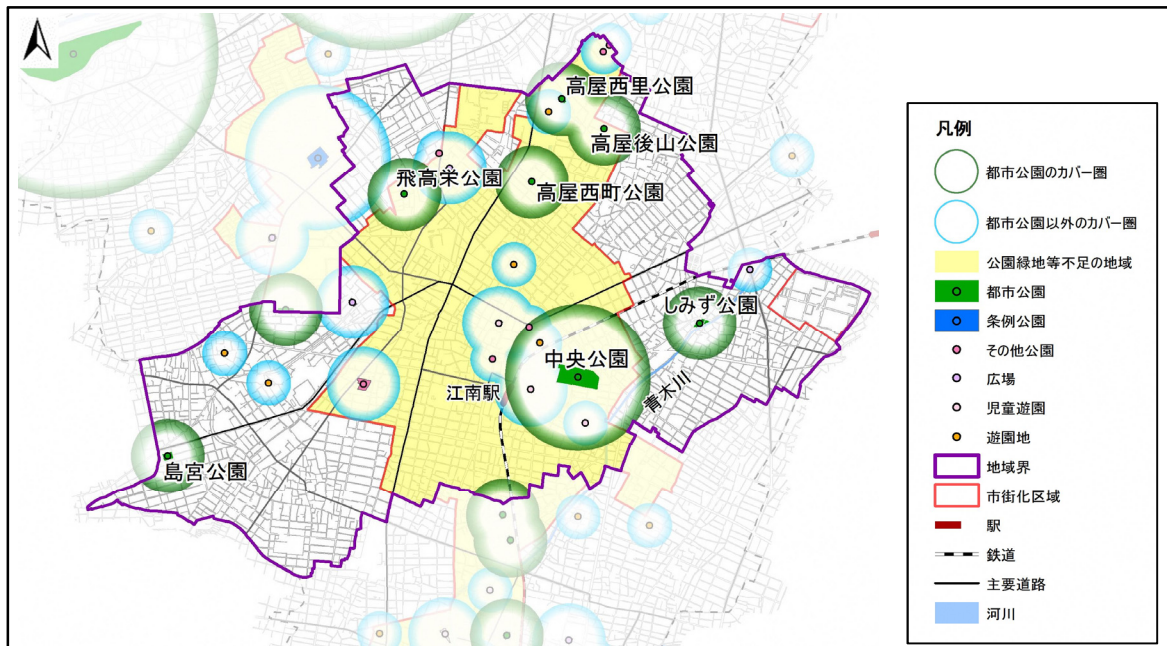
- ・市民一人当たりの都市公園面積は1.0㎡/人であり、低い水準にあります。

❖公園緑地等の人口・面積カバー率

- ・公園緑地等の人口カバー率41%、面積カバー率33%となっており、公園緑地等は人口の多い市街化区域内に集中しているため、人口カバー率は市平均程度ですが、面積カバー率は市平均より低い水準となっています。

❖市民意向

- ・他地域と比べて、緑が多いと感じている市民の割合が最も低い地域です。
- ・江南市の緑で特徴的な場所や施設については、フラワーパーク江南を除くと、木曽川、曼陀羅寺公園、すいとぴあ江南、中央公園など幅広い場所・施設が10%程度となっています。
- ・月に1～2回以上公園を利用する人は37%であり、市全域に近い平均的な利用頻度となっています。



■公園緑地等のカバー圏の状況



(2) 緑の主要施策

中部地域における主要施策を以下に示します。

基本目標	主要施策
まもる	<ul style="list-style-type: none"> ○江南駅周辺や江南厚生病院周辺は、市民による公園・道路・河川などの美化活動を促進していくため、こうなん美化ボランティアの活動を広報やホームページなどで広く紹介するとともに、NPO・ボランティアガイドの冊子発行やボランティア講座の開催による普及啓発を実施します。 ○生産緑地地区は、特定生産緑地の制度を活用し、適切に維持できるよう努めます。 ○しみず公園のビオトープ池は、NPOなどと協力して生物多様性の維持・向上を図ります。
つくる	<ul style="list-style-type: none"> ○人口密度が高いにもかかわらず公園緑地等のカバー圏に含まれない地域を中心に、周辺環境や公園の設置目的などを総合的に判断しながら、生産緑地地区や低未利用地などの活用を含め、バランスのとれた適切な整備を検討します。 ○江南駅周辺や江南厚生病院周辺は、花いっぱい運動の実施を継続するとともに、目に見える緑の量が増えるような花や緑の効果的な配置や設置を検討します。 ○江南駅周辺や江南厚生病院周辺の緑化活動を促進するため、花いっぱいコンクールや緑のカーテンチャレンジの実施状況などの情報の発信に努めます。
いかす	<ul style="list-style-type: none"> ○面積は小さいながらも公園緑地等の立地数が比較的多い地域であり、多様化する市民ニーズに対応した公園緑地等の改修を検討するとともに、バリアフリー化の改修を推進します。また、地域主催のイベントの開催などによる活用を推進します。 ○中央公園は、大規模な都市公園として公園施設の改修による環境の改善や景観の向上などにより、公園利用者の増加を図り、地域主催のイベントの開催などによる活用を推進します。
つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ○青木川において清掃活動を実施し、河川景観と水質の維持・向上に努めるとともに、環境保全意識の向上を図ります。 ○しみず公園で実施している「親子ふれあい観察会」などへの支援を継続的に行い、次世代の緑を担う人づくりを推進します。



江南駅前



中央公園



しみず公園





つくる

- 江南駅周辺や江南厚生病院周辺は、花いっぱい運動の実施を継続し、花や緑の効果的な配置や設置を検討
- 花いっぱいコンクールや緑のカーテンチャレンジの実施状況などの情報を発信

つくる

- 人口密度が高いが公園緑地等のカバー圏に含まれない地域を中心に、バランスのとれた適切な公園緑地等の整備の検討

まもる

- 江南駅周辺や江南厚生病院周辺において、市民による公園などの美化活動を促進するため、情報発信や普及啓発を実施

いかす

- 公園施設の改修

まもる

- ビオトープ池において、生物多様性の維持・向上

つなぐ

- しみず公園において、自然観察会などの学習プログラムへの継続的な支援

いかす

- 公園緑地等における市民ニーズに対応した改修の検討やバリアフリー化の推進、イベント開催などの活用の推進

まもる

- 生産緑地地区における特定生産緑地制度の活用

つなぐ

- 青木川の清掃活動の実施による河川景観と水質の維持・向上と環境保全意識の向上



凡例	●骨格を形成する緑	●水と緑のネットワーク
	市街化調整区域の一団の農地	街路樹
	●拠点となる緑	青木川及び河川沿いの緑
	主要な緑の拠点(都市公園等)	まちの顔となる拠点(中心拠点・地域拠点)
	社寺・古墳等	地域界
	児童遊園、遊園地、その他公園、広場	市街化区域
	市民菜園	鉄道・駅
避難所・避難場所	都市計画道路	
健康・レクリエーションの場となる緑	その他道路	
	河川	

■緑の主要施策図(中部地域)



5 南部地域の施策

(1) 緑の概況

❖位置

・本地域は市域の南部に位置し、中心拠点（布袋駅周辺）を有しています。



❖公園緑地等の立地状況

・都市公園4箇所、条例公園1箇所が立地しています。そのほか、児童遊園や広場等を含めると計19箇所の公園があります。

❖市民一人当たりの都市公園面積

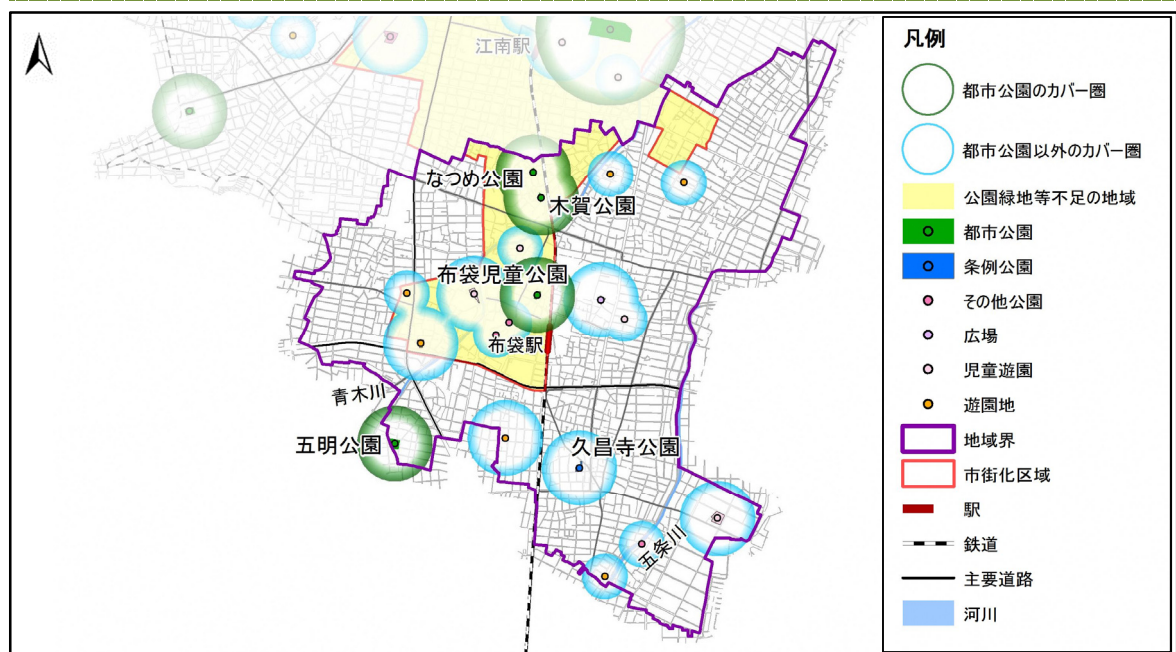
・市民一人当たりの都市公園面積は0.4㎡/人であり、市内で最も低い水準にあります。

❖公園緑地等の人口・面積カバー率

・公園緑地等の人口カバー率38%、面積カバー率30%となっており、カバー圏が小さい小規模な公園緑地等が多いことから市内で最も低いカバー率となっています。

❖市民意向

・他地域と比べて、緑が多いと感じている市民の割合が比較的低い地域です。
・江南市の緑で特徴的な場所や施設については、フラワーパーク江南、五条川（尾北自然歩道）、木曽川などの回答が多く、他地域と比べて五条川が多くなっています。
・月に1～2回以上公園を利用する人が32%であり、他地域と比べて利用頻度が低くなっています。市民一人当たりの公園面積が小さいためと考えられます。



■公園緑地等のカバー圏の状況



(2) 緑の主要施策

南部地域における主要施策を以下に示します。

基本目標	主要施策
まもる	<ul style="list-style-type: none"> ○五条川およびその周辺は、総合的な保全の継続に努めます。 ○五条川の桜並木は、定期的な剪定や消毒などの維持管理に努めるとともに、良好な状態を保つため関係機関へ働きかけます。 ○尾北自然歩道については、NPO やボランティアとの連携により、快適で安心・安全な利用環境の維持・向上に努めます。 ○布袋駅周辺は、市民による公園・道路・河川などの美化活動を促進していくため、こうなん美化ボランティアの活動を広報やホームページなどで広く紹介するとともに、NPO・ボランティアガイドの冊子発行やボランティア講座の開催による普及啓発を実施します。 ○生産緑地地区は、特定生産緑地の制度を活用し、適切に維持できるよう努めます。
つくる	<ul style="list-style-type: none"> ○人口密度が高いにもかかわらず公園緑地等のカバー圏に含まれない地域を中心に、周辺環境や公園の設置目的などを総合的に判断しながら、生産緑地地区や低未利用地などの活用を含め、バランスのとれた適切な整備を検討します。 ○布袋駅南部については、土地区画整理事業の進捗に合わせて、公園緑地等の適切な整備を推進します。 ○布袋駅周辺は、花いっぱい運動の実施を継続するとともに、目に見える緑の量が増えるような花や緑の効果的な配置や設置を検討します。 ○布袋駅周辺の緑化活動を促進するため、花いっぱいコンクールや緑のカーテンチャレンジの実施状況などの情報の発信に努めます。
いかす	<ul style="list-style-type: none"> ○面積は小さいながらも公園緑地等の立地数が比較的多い地域であり、多様化する市民ニーズに対応した公園緑地等の改修を検討するとともに、バリアフリー化の改修を推進します。また、地域主催のイベントの開催などによる活用を推進します。 ○市民の憩いの空間である久昌寺公園は、活用の推進を検討します。
つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> ○五条川や青木川は清掃活動を実施し、河川景観と水質の維持・向上に努めるとともに、環境保全意識の向上を図ります。



布袋駅周辺での花いっぱい運動



久昌寺公園



五条川



凡例	●骨格を形成する緑	●水と緑のネットワーク
	市街化調整区域の一団の農地	街路樹
	●拠点となる緑	青木川・五条川及び河川沿いの緑
	主要な緑の拠点(都市公園等)	まちの顔となる拠点(中心拠点・地域拠点)
	社寺・古墳等	地域界
	児童遊園、遊園地、その他公園、広場	市街化区域
	市民菜園	鉄道・駅
	避難所・避難場所	都市計画道路
	健康・レクリエーションの場となる緑	その他道路
	本市を代表する郷土景観となる緑	河川

■緑の主要施策図（南部地域）

